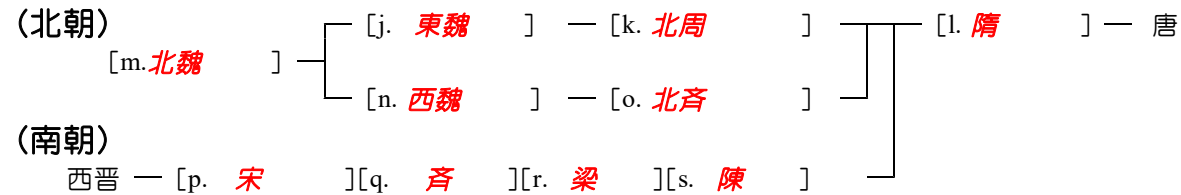
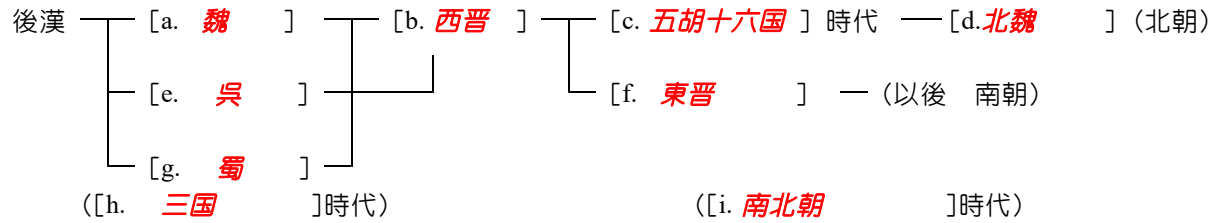


第3章 東アジア世界の形成と発展 1. 北方民族の活躍と中国の分裂

＜後漢から隋への王朝の変遷＞



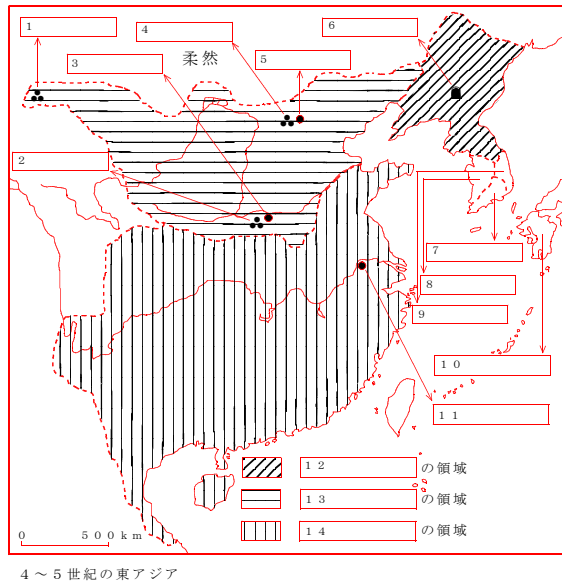
b. 五胡十六国と南北朝

① 晋の一族[1 司馬睿]、[2 江南]に晋を再興 ([3 東晋])
 以降宋、齊、梁、陳の漢民族の4王朝が興亡 (= [4 南朝]) 都 = [5 建康] (現、南京)

ア) [6 江南]への大量の人口流入→人口急増・開発進む = [7 水稻]耕作による稲作の普及
 豪族・貴族が率いる

イ) [8 貴族]中心の政治→貴族文化の発達 ([9 六朝]文化)

六朝…[10 江南]地方にさかえ、[11 漢]民族がたてた[12 呉]、[13 東晋]、宋、齊、梁、陳の六王朝をいう。六朝文化とよばれる[14 貴族]中心の文化が栄えた。



② 5世紀前半[15 鮮卑]族[16 拓跋]氏の太武帝、華北を統一、[17 北魏]を建国 [18 仏教]を弾圧

全盛期…[19 孝文]帝

ア) [20 漢]化政策をとる→首都を平城から[21 洛陽]に移す

22 遊牧民の農耕民化をはかり、鮮卑の服装や言語を禁止し中国人化をすすめる_____

イ) [23 均田]制や三長制の実施

ウ) [24 仏]教の保護(雲崗や龍門の石窟寺院の建設)や[25 道]教の保護

③北魏の分裂=東魏、西魏→北斉、北周([26 北朝])
 →万里の長城を修復し、周辺民族([27 柔然]モンゴル系)の侵入を防ごうとする

c. 社会経済の変化 (豪族→門閥貴族へ)

①[28 豪族]の成長(前1世紀以後)

②魏…官吏登用法を[29 郷挙里選]から[30 九品中正]に変更

九品中正…[31 魏]ではじめられた[32 官吏登用]制度。中央から派遣された中正官が地方の官吏希望者を郷里の評判などにより九の等級にわけて推薦し、中央ではそれに基づき官吏に任命した。その結果、官吏の[33 家柄の固定化]がすすみ、[34 貴族]が出現した。

結果:[35 上品に寒門なく下品に寒門なし]=有力な[36 豪族]が高官をしめる→[37 貴族]階級へ

貴族…大きな[38 荘園]で多数の[39 隷属農民]に従え、穀物・野菜・畜産物・手工業などを自給する総合的経営を行う→[40 独立国]的な性格をもつ。

③土地政策の実施…[41 屯田]制(魏)、[42 占田・課田]制(西晋)、均田制([43 北魏])

→[44 農民の生活安定と税収の確保]のため、国家が土地所有に介入、農民に土地を与えようとする

均田制…[45 北魏]の[46 孝文]帝が農民の定着を図るとともに、[47 税]の徴収を確実にし、同時に[48 貴族]による土地の独占を防ぐ狙いをもってはじめた制度で後の隋・唐帝国や日本の[49 班田収授]法などにも影響を与えた。

成人に一定の広さの土地を与え、70歳になると返却させた。しかし[50 奴婢]や[51 耕牛]にも土地を与え、負担も少なかったことは[52 貴族]勢力を優遇し妥協をはかったものと考えられる。北魏では同時に土地と人民の把握をする目的で[53 三長]制もおこなわれた。

d. 魏晋南北朝の文化

[54 国家]統制低下と[55 他民族文化]の融合→多様な思想文化の開花

①仏教…[56 1]世紀以来[57 西域]より伝来→[58 四世紀]後半以降広まる
 ・[59 仏図澄]や[60 鳩摩羅什]ら来訪、布教や仏典の翻訳

・東晋の[61 法顕]、[62 グプタ]朝のインドへ留学(著書「63 『仏国記』」)

・仏教美術=石窟寺院の建設([64 雲崗] [65 龍門] [66 敦煌]など)

②[67 道教]教団の成立
 …[68 寇謙之(太武帝)]ら→[69 北魏]の太武帝らの保護を受ける→仏教への弾圧も

道教…[70 五斗米道]・太平道など古くからの民間信仰や[71 神仙]思想に[72 道家]思想が融合し、[73 仏教]の影響も受けながら成立した中国の民族的宗教。[74 現世利益]や[75 不老長寿]を願う民衆らの願いに合致した。